

平成16年8月30日
気象庁観測部

配信資料に関する技術情報(気象編) 第169号

—10分毎の地域気象観測報を配信する観測所の追加について—
(平成15.1.28配信資料に関する技術情報(気象編)第121号及び第157号関連)

気象庁では、平成15年3月から地域気象観測(アメダス)の10分値の配信を開始しています(配信ヘッダー等は表1参照)が、一部の観測所では悪天時にのみ10分値を配信しています。

表2に示す5ヶ所の観測所においては、従来、悪天候時にのみ10分値の配信を行っていましたが、平成16年10月1日(金)9時(JST)から、これらの観測所についても10分値の常時配信を開始します。これにより、悪天時にのみ10分値を配信する観測所は、表3のとおりとなります。

- 1 配信開始日 平成16年10月1日(金)09JST頃
- 2 配信回線：全国版電文形式データ回線
- 3 配信しているデータの内容等

表1. 全国版気象データ回線から配信しているアメダスデータ(10分毎の値)

	配信ヘッダー	観測時刻等	観測要素					通報式等
			雨	風	気温	日照時間	積雪深	
BUFR形式	ISYRii ^{注1)}	正時以外の毎10分値	○	○	○	○		FM94
文字形式	YRJP50~99 ^{注2)}	正時以外の毎10分値	○	○	○	○		JM1501

注1) 配信ヘッダー中のiiは、電文(地方単位の編集報)に含まれる観測所データの対象領域を示す番号で、10は北海道、15は東北、20は関東甲信、25は東海、30は北陸、35は近畿、40は中国、45は四国、50は九州北部、55は九州南部、60は沖縄。

注2) 観測所90ヶ所のデータが集まった時点で“YRJP50”、次ぎの90ヶ所のデータが集まった時点で“YRJP51”、…のように90ヶ所分のデータが集まる毎にiiの番号を一つ増加させて電文を配信する。通常は20弱の電文で全国分の配信を完了する。
文字形式のデータ配信は、平成17年2月で終了を予定。

4 利用上の注意事項

- (1) 通信回線の障害、観測装置の点検作業等により観測時刻より9分以前に集信されなかったアメダス10分値は配信しません(正時値の配信率は99.9%、10分値の配信率は99.6%)。
なお、軽微な点検作業等についての事前連絡は行いません。
- (2) C-ADESS障害時には、10分値は配信しません(正時値については従来通り配信を確保します)。
- (3) 10分値に対する修正報はありません。

- (4) 積雪深データは、10分値の配信を行いません。また、気象官署（特別地域気象観測所を含む）の日照時間データは、10分値の配信を行いません。
- (5) 表3に示す観測所では、悪天時（雨量もしくは風速がある一定の基準値に達した場合のみ、10分値を配信します。配信する基準は、雨量は観測所が所在する予報区の大雨注意報基準雨量の1/6、風は同予報区の強風注意報基準風速の8割を観測した場合です。
- (6) 降水量、日照時間は前正時からの積算値を配信します。

表2. 平成16年10月1日から、アメダス10分値の常時配信を開始する観測所（観測所番号：観測所名）

11291：北見枝幸、17036：雄武、21187：苫小牧、31436：深浦、91146：久米島
--

表3. アメダス10分値を悪天時にのみ配信する観測所（平成16年10月1日以降）（観測所番号：観測所名）

13181：羽幌、16091：小樽、20751：広尾、44226：三宅島、45371：勝浦、48331：軽井沢、 72111：多度津、74447：宿毛、81071：萩、82136：飯塚、83137：日田、84171：平戸、 84266：佐世保、84519：雲仙岳、86156：阿蘇山、86467：人吉、86491：牛深、87141：延岡、 87426：都城、88061：阿久根、
--